

HUMAN RIGHTS MESSAGE

じんけん 人権とは…

「人権」というと、どうしても、特別なこと、難しいこと、堅苦しいことといったイメージを思い浮かべがちです。

しかし、「人権」は私たち一人ひとりにとってかけがえのないとても大切なものであり、誰もが生まれながらにして持っている、誰からも侵されることのない、人として幸せに生きていくための当然の権利です。

また、日頃からの思いやりの心によって守られるものであり、だれもが心で理解し、感じることができるものではないでしょうか。

インターネット上での誹謗中傷の書き込み、学校でのいじめや体罰、子どもに対する虐待、性別および性的指向・性自認の違いや被差別部落出身という理由による差別、お年寄りの疎外、障害のある人、外国人、アイヌの人々、ハンセン病、HIV や新型コロナウイルスなどの感染症患者、刑を終えて出所した人に対する偏見、犯罪被害者とそのご家族への興味本位のうわさや中傷、拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害や、高齢者など配慮を必要とする方々の災害時における人権問題など、数多くの人権にかかわる問題が起きています。

私たちは、誰もがみな幸せに生きたいと願っています。同時に、家族や友人などまわりの人々の幸せも願っています。すべての人々が幸せに生きていくために、お互いの人権や多様性を尊重し、「誰か」のことではなく、自分自身のこととして考え、行動しましょう。

世界人権宣言

(1948年12月10日第3回国際連合総会で採択)

第1条 すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神を持って行動しなければならない。



誰もがお互いの人権を尊重し合うために、
「誰か」のことではなく自分自身のこととして考え、
行動しましょう。



人KENまもる君・人KENあゆみちゃん



石川県総務部総務課人権推進室

TEL:076-225-1235

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/soumu/index.html>

石川県人権啓発活動ネットワーク協議会



このリーフレットは再生紙を使用しています。

2024年 二十歳へ贈る人権メッセージ

「誰か」のこと
じゃない。

HUMAN RIGHTS MESSAGE



MESSAGE



多様性を認め合う 社会の実現に向けて

石川県知事

はせ
馳

ひろし
浩

新たに二十歳を迎えられた皆さんに、心からお祝いを申し上げます。

二十歳という年齢は、人生における大きな節目であり、周囲からは、大人としての自覚をこれまで以上に求められることとなるとともに、自分がこれからどのような大人になり、どのように生きていくかについても、しっかりと考えていく必要があります。

今、子どもに対する虐待、学校でのいじめや体罰、性的マイノリティ (LGBTQ) の方々への偏見など、人権をめぐる深刻な問題が後を絶ちません。さらに、インターネット上での差別や誹謗中傷の書き込みによる人権侵害についても、現在大きな問題となっています。

これから社会全体で、全ての方々が幸せを実感しながら発展を続けていくためには、誰もが自分らしく、いきいきと生活することができる社会を作り上げる必要があります。そのためには、私たち一人ひとりが多様性を認め合い、お互いに相手を思いやることがとても大切です。

皆さんは大人として、これから新たな時代を生きていく中で、様々な痛みや苦しみを背負うかもしれません。こうした中においても、困難なことにも積極果敢にチャレンジする勇気や的確な洞察力、行動力といった「生きる力」を発揮できるよう応援しています。

そして、様々な人権問題についても、「誰か」のことではなく、自分自身の問題であると受け止め、多様性を認め合う社会の実現に向けて行動してくれることを、心から期待しています。

二十歳の皆さん



思いやりと感謝

やまぐち らんまる
山口 嵐丸(能美市)

この度、家族や友人、周りの方々に支えられて、元気な姿で成人を迎えられたことに

感謝致します。

私は今、飲食店でアルバイトをしており、お客様と直接関わっていくなかで、日々気持ちよく飲食店を利用できているのは従業員の細かい気遣いのおかげなのだ気づくようになりました。それから、先輩の接客時の言葉遣いや、サービスの仕方などを学ぶようになり、お客様からの嬉しそうな表情や、感謝の言葉をやりがいとして働くようになりました。

また、私は大学のサークルの代表になり、色々な不安がある中、同期、先輩、後輩のあたたかい言葉や、サポートのおかげで楽しく活動しています。

このように20歳になって、一人一人切れてはならない「思いやり」の糸のようなものがつながって平和に生活できているのだと感じるようになりました。そして、それが紛争、差別問題が起きている世の中全体にも広がるように考え、行動していかなければならないと考えます。



感謝の言葉

おおにし たくと
大西 拓翔(穴水町)

この度、成人を迎えるにあたり、改めて「感謝の言葉」を伝えることの大切さを再認

識しました。

私は今、消防士として、命に関わる大事な仕事をしています。この仕事をしていて人を助けた時などいろいろな場面で、町民から「感謝の言葉」を言われることが増えてきました。その言葉を聞くたびに私もうれしい気持ちになります。

私が今こうして二十歳を迎えることができたのは、今まで一番近くで見守り、支えてくれた両親の存在が密接に関係していると思います。そんな両親に心から「感謝の言葉」を伝えたいです。

自分にとって今まで支えてくれた方々が少なからずいるということを実感し、感謝の気持ちを常に忘れず、私も色々な方々に感謝される人になるために努力していきます。

MESSAGE



二十歳の皆様へ

バスケットボール選手
(株式会社デンソー所属)

あかほ
赤穂 ひまわり

新成人を迎えられた皆さん、おめでとうございます。

皆さんと同じ石川県民として心よりお祝い申し上げます。

所属チームでは2022年のシーズンからチームのキャプテンを務めており、今シーズンこそ悲願の優勝を目指して日々活動しております。キャプテンとして「チームを引っ張るために、頑張らないといけない!」と意気込むことはせず、「当たり前のことを当たり前やること」を意識して日々練習に取り組んでいます。

私が今こうしてバスケットボール選手としていられるのは、ずっと変わらず応援し続けてくださっている皆さんのおかげです。調子が上がらず落ち込んでいる時でも、地元に戻れば元気がもらえて、また頑張ろうと切り替えることができます。本当にありがとうございます。

新成人の皆さんも、これから何度も高い壁に直面したり、道に迷ってしまうことがあると思いますが、そういう時は視野を広く持って周りを見渡してみてください。必ず味方になって支えてくれる人がいるはずですよ。そういう方々を大切に、そして何よりも自分自身を一番に考えてあげて、一日一日を頑張ってください。

私もまた皆さんに良い報告ができるように日々頑張っていこうと思います。

皆さんのご活躍を心よりお祈りしております。